

第1学年 7月 単元名 「ひきざん(1) - ひきざんってなあに? 」

1 単元の目標

求残, 求部分, 求差をひき算の式に表すよさを知り, 進んで式に表し, 差を求めようとする。

求残, 求部分, 求差の場面を同じひき算と考えることができる。

求残, 求部分, 求差の場面を数図ブロックで操作し, ひき算の式に表して答えを求めることができる。

ひき算が用いられる場面や, ひき算の記号や式の読み方, かき方, 計算の仕方を理解する。

2 単元の指導計画

時	学 習 内 容	学 習 形 態
1 ~ 3	数図ブロックを操作し, 求残, 求部分の場面を理解したり, ひき算の式に表したりする。(のこりはいくつ)	T・T
4・5	ひき算のカードを使って, ひき算の習熟をする。	T・T
6 ~ 8	数図ブロックを操作し, 求差の場面を理解したり, ひき算の式に表したりする。(ちがいはいくつ)	T・T
9	場面の絵からひき算の適用できるところを見つけ, ひき算についての理解を深める。	T・T

3 単元構成

時 間	ねらい	学習活動	算数的活動	交流の場	その他(教材)
1	数図ブロックを操作し, 求残の場面を理解することができる。	求残の場面を数図ブロックで操作する。	・ブロックを絵の上に置いたり, 手で右へ取り去る操作をしたりする。	・ペアでブロック操作を見せ合う。	数図ブロック 掲示図
2	ひき算の式を知り, ひき算の式にかいて答えを求めることができる。	求残の場面をひき算の式に表す。	・ひく場面をブロックで操作する。 ・記号「-」を知り, ひき算の式に表す。 ・式, ブロック操作, 答えの順で答えを導く。	・ペアでブロック操作を確かめる。	数図ブロック 掲示図
3	数図ブロックを操作し, 求部分の場面を理解することができる。	求部分の場面を数図ブロックで操作する。	・場面の絵をブロックに置き換え, 分かっている部分をひく。	・ペアでブロック操作を見せ合う。	数図ブロック 掲示図
4・5	ひき算のカードを使って, ひき算について習熟するとともに, ひき算についての適用を広げ, 理解を深める。	ひき算カードでひき算の練習をする。 絵を見てひき算の場面を想起したり, ひき算の式に表して答えを求めたりする。	・ひき算カードを使って練習する。 ・ひき算のお話作りをする	・ペアでゲームをする。お話を作って問題を出し合う。	ひき算カード 情景図
6	数図ブロックを操作し, 求差の場面を理解することができる。	求差の場面を数図ブロックで操作する。	・絵にブロックを対応させ, 同じ部分のペアを作ってひく。	・ペアでブロック操作を見せ合う。	数図ブロック 掲示図
7	求差の場面でも, ひき算の式にかいて答えを求めることができる。	求差の場面(何本多い)をひき算の式に表す。	・場面の絵をブロックに置き換え操作することを通して, ひき算の式に表す。	・ペアでブロック操作を確かめる。	数図ブロック 掲示図
8	求差の場面でも, ひき算の式にかいて答えを求めることができる。	求差の場面(ちがいはいくつ)をひき算の式に表す。	・数量の違いをブロック操作を通して求め, ひき算の式に表す。	・ペアでブロック操作を確かめる。	数図ブロック 掲示図
9	ひき算の適用する場を広げ, ひき算についての理解を深める。	絵を見てひき算の場面を想起したり, ひき算の式に表して答えを求めたりする。	・ひき算のお話作りをする。	・お話をを作って問題を出し合う。	数図ブロック 情景図